

# としま 議会だより

令和3年6月 発行（年4回発行）Toshima Village Council 2021.06 NO.93

第2回ワクチン接種の様子(平島)



**議会だよりの表紙を飾る写真募集中です**

島の風景や行事など魅力ある一枚をお待ちしています。お問い合わせは議会事務局まで

## TOPIX

### ○令和3年3月定例議会

3月8日～3月17日（10日間）

条例の制定・改定 13件

補正予算 7件

当初予算 7件

契約 6件

権利の放棄 5件

指定管理者の指定 51件

### ○一般質問 2件

・永田 和彦 議員 . . . 2P

・日高 助廣 議員 . . . 3P

### ○令和3年度予算審査委員会

・一般会計 . . . 4P～5P

・特別会計 . . . 6P

## 新型コロナウイルスワクチン接種計画

○永田議員 ワクチンの配布から実際に住民が受けられるようになるまでのスケジュールを伺う。

○肥後村長 スケジュールについては、村営定期船を特別配船し、1回目を4月最終週の月曜日出港便の村内二泊三日行程で接種を検討している。

○永田議員 ワクチンの接種会場はどのように指定するのか。

○肥後村長 接種会場については、問診区画や接種区画、経過観察区画などを確保する必要があることから、学校の体育館を想定している。

○永田議員 ワクチン接種の順番の設定はどのようになされるのか。

○肥後村長 ワクチン接種の順番については、16歳以上の接種対象者全員を一斉接種で進める予定である。

○永田議員 ワクチン接種の保管場所、保管場所から各島接種会場までの輸送方法を伺う。

○肥後村長 ワクチンの保管については、マイナス75℃で保管できる冷蔵庫で管理することになっており、この冷蔵庫については、国から本村に1個割り当てられる予定である。本村の村営定期船の宝島までの運行時間が概ね13時間かかることを考慮し、村営定期船の診療室に設置する方向で進めている。

○永田議員 ワクチン接種について各個人の意思確認をしたうえででの接種となるのか。

○肥後村長 ワクチンの接種については、強制ではなく、希望者のみに接種することになる。

○永田議員 配布されるワクチンの量について、どのような基準により、国から配布されるのか。

○肥後村長 今回のワクチン接種は、ファイザー製ワクチンとなっていることから、2回接種となるが、1回目、2回目、それぞれの接種対象者分の配布が見込まれることになっている。

○永田議員 ワクチン1本あたり大体5人分接種できるということだが、各島間の接種で端数が出た場合、残りの残量分は次の島でも使用することができるとか。

○竹内住民課長 各島の接種希望者の人数によって、端数が出ることは想定される。ワクチンについては、希釈後6時間以内に接種することになっている。

## ワクチンの本数・効果

め、次の島までの移動が6時間以内であれば再度使えることになる。6時間を超えた場合は、廃棄処分になる。希望者については、500人以内で収まると考えており、1回当たりの県からの配布量が1箱500回分と決まっているため、希望者に接種する本数には値していると理解している。

○永田議員 ファイザー製のワクチンについて、どういった効果があるのか。

○竹内住民課長 ファイザー製のワクチンについては、1回目の接種で、約85%の発症を抑えることができ、2回目の接種では95%発症を抑えられ、重症化を予防することができる。



永田 和彦 議員



## 「口之島野生牛」の保護対策

**○日高議員** 口之島の野生牛は、家畜系統史の研究者によると、日本在来種の形質を残した個体群であることが明らかになっていくが、村としての保護、保存対策を講じる必要があると思うがどのように考えているのか伺う。

**○肥後村長** 口之島の野生牛については、歴史的にも古くから集落の共有財産として、今日まで引き継がれてきていることから、当然にその保護・活用の在り方などは口之島集落会等で十分に協議検討されるべき事項であると考えます。保護については数年前になるが、野生牛の死亡が数多く確認され、その原因の

一つに、水飲み場が無いということが考えられた。そこで、人工の水飲み場の設置を求める議論もされたところだが、結果的には、口之島自治会の財産であり、地域に任せざるべきであると考えた。また、100年、あるいは300年以上も自然のまま集団を維持している野生牛であり、むやみに手を加えるべきではないという結論を出している。

**○日高議員** 近年、牧場に野生牛が侵入し畜産農家の経営を圧迫している。自治会、畜産組合で対応しているが、マンパワー不足により苦慮しているのが現状であり、安心して飼養管理できる環境が望ましいが、対応策が不可欠である。考えを伺う。

**○肥後村長** 牧柵、有刺鉄線等の補修については、毎年度、村の畜産振興費の予算の中で、地元畜産組合の要望などを聞き取り

## 「口之島野生牛」の調査研究

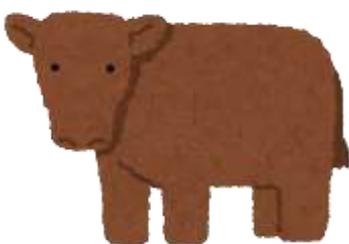
資材を支給している。作業については、地元畜産組合、あるいは、人手不足を補う上で、現業業務の作業であたっている。野生牛の侵入について畜産組合が対応することは、島内の事情によりやむを得ないことではあるが、過去にも野生牛は自治会の特別な共有財産であると整理した経緯もある。自治会の共有財産であると考えた場合、自治会が中心となり対応することが望ましいと捉えている。このようなことから現段階では、早々に村が何らかの対応を図ることは控えるべきと判断している。

**○日高議員** 名古屋大学、鹿児島大学において、飼育、研究されている経緯があるが、研究成果の報告はあるのか。また、野生牛調査、研究対策について、どのように考えているのか伺う。

**○有村教育長** 野生牛の調査研究については、野生牛に限らず、大学等の研究機関からも、その研究成果の報告が直接されることはほとんどない。あっても、研究論文等が送られてくる程度である。調査研究について、野生牛は、古くから集落の共有財産として、今日まで受け継がれているところであり、自然のまま、あるがままの姿で、集団を維持している。これまでも、これからも、口之島自治会の財産、宝であるためにも、むやみに手を加えることなく、地域の中で対応を協議しながら大切に見守っていただきたい。



日高助廣 議員



〈総務課〉

問 宿泊助成事業について

【答】 当初1泊4千円の宿泊に対し2分の1の2千円を村が補助をしていたが、利用が増え、村の財政が厳しいことから2回制度を見直した経緯がある。

現在、1泊400円の補助をする中で利用者が減ってきている感じがある。鹿児島市内の宿泊費は1泊七千円から八千円であるが、村が契約しているところでは、2分の1相当で負担が抑えられている。村としても県を通じ、離島地域の交通不便な事情を含めて、国の支援制度を設けてもらうよう声を上げているが、対象地域が、十島村、三島村に限定されるため、全国的な離島の同一状況には無いということから、前に進めていない状態である。

問 フロードバンド整備事業について

【答】 NTTによる自治体の負担金方式は、フレッツ光回線を引く為に、NTTが独自の局舎や機械を整備する費用を将来フレ

ツ光で収入を得ることも考えて、その引出の手出し分を村負担するというものである。このことにより、NTTの局舎に専用の設備を投資し、村のフレッツ光回線が使える様になる。

問 ハザードマップ制作について

【答】 新たに作り直す予定である。津波の浸水区域を全てまとめたものを作成予定で、以前のような1枚の大きい地図、写真等にするのか、または冊子のものにするのか、検討していきたい。



問 台風防災学習について

【答】 各学校と危機管理室で進めており、4月13日の諏訪之瀬島を皮切りに、7月までかけて危機管理室3名体制で各島をまわる予定。

〈地域振興課〉

問 現業業務事業について

【答】 民間委託について現在1社と協議をしている。R2年度は(株)現業中之島、(一社)宝島の2社に委託し、民間業者及び現業職のリーダーに聞き取りを実施したが、特に問題はなく、R3年度も引き続き同じような形態で実施していきたいと話をしている。

問 十島村漁船廃船処理支援事業について

【答】 村内で対象となる廃船は漁協を含めて調査中である。R3年度は2隻分の廃船を見込んで15万円の予算を計上している。4月1日から要綱を開始する予定だが、状況を見て進めていきたい。



問 住宅整備について

【答】 R2年度の入居率については、口之島の空き家を1棟、小宝島に村営住宅を1棟、単身の2世帯長屋を整備している。村営住宅の入居率は、村営住宅で113棟整備し、入居が100戸、入居率は、88.5%。空き家改修住宅は27棟整備しており、入居数は21戸、入居率が77.8%である。全体での入居率は、86.4%である。

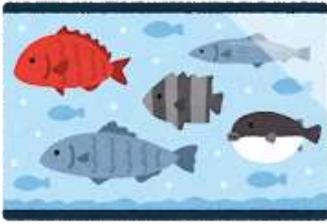
問 定住関係について

【答】 R3年度の定住イベントについては、上半期は社会情勢を踏まえて難しいところではあるが、下半期では徐々に再開していく予定で予算は確保している。アイランダーやJOIN、JICA等に参加する予定である。また、今年延期した結果、中止となった十島村の単独移住イベントについても例年は8月や4月の上半期実施していたが、それも上半期で実施できるか状態を見極めながら判断したい。

## 問 離島漁業再生支援事業に

ついて

**答** 活魚出荷については、漁港に水産指導員が配置され、試験的に口之島でも出荷していただいています。口之島では、シロダイやムロアジなどを出荷しているが、今使っている活魚タンクについては、フェリーの中に入れて送るときのことも検討しており、船の中でも海水をかけ流して送ったり、小さな固形酸素を入れて魚を活かしたりと、試験的にやっているところである。これから色々課題が出てくると思うが、水産指導員のもと協議をして検討していきたい。



## 〈土木交通課〉

### 問 危険木・支障木等伐採に

ついて

**答** 中之島の中央線の道路沿いはR3年度で確実に終わる見込みである。以前から枯れていなくても危険個所がまだ多くあるため、そこまで手を広げていきたい。費用的に厳しい状況にあるため、ある程度の事業費は確保した上で発注していきたい。

### 問 小宝島港整備について

**答**

海洋処分地で泊地浚渫にかかるところについては、H27年度から開始しており、環境省の許可が必要である。環境省が認めてくれるのが「汀線（ていせん）」いわゆる海と陸の境から、海側の土だけ海洋処分を認められる。R3年度分で海洋投入処分が発生することに伴い、捨てる土砂に有害な物質が入っていないことを証明するため、その分のモニタリング調査の委託料と工事請負費がかかっている状態である。

## 問 地籍調査について

**答**

大河内、小河内、全ての一筆地調査を行う予定だったが事業費の関係上、R2年度は大河内、小河内の外周の部分の一部を行った。R3年度においては、その外周だけでも充てたいと考えているが、4月以降の事業費の決定次第である。

## 〈住民課〉

### 問 ブエ駆除について

**答**

R2年度は、10月に鹿児島大学の教授と調査を行っている。薬剤散布の効果については、およそ300匹のブエが採取でき、このうち吸血のアシマダラブエは9個体であった。この9個体については川の上流地点で採取されているもので、人が住んでいるところに関しては、薬剤の効果が出ているという結論に達している。

### 問 廃自動車離島支援事業について

**答**

廃自動車をH30年度末に調査した際、約25台確認しており、持ち主が判明している分に

ついては通知を行っている。新たな放置自動車を生まないよう、当事業を活用しながら考えたい。



## 〈教育委員会〉

### 問 中学校連合交流学習事業について

**答**

連合交流学習については、主として、村の中学校の交流が第一の目的である。R3年度計画においては、伊集院北中学校の生徒と交流し、午後は体育館を借りて村の子供たちの交流を図る予定である。

### 問 文化財保護対策費について

**答**

諏訪之瀬島のマルバサツキの国の天然記念物指定を目指しており、そのあとで、山桜についても国の天然記念物の指定を考慮しているところで、今回、山桜の保護対策を行うこととし、フェンス設置を計画している。

## 国民健康保険特別会計

### 問 国民健康保険税について

**答** R3年度の国民健康保険税は、R3年1月1日付で税制改正があり、基礎控除額等を変更している。コロナウイルスの影響で、世帯の減収が見込まれる。併せて、被保険者数が減少しており、R2年度はR元年度と比較して9人減の217名となっている。

## 船舶交通特別会計

### 問 船舶用船について

**答** 賃借料については、燃料単価×距離で算出しており、金額としては、「フェリー」としま2」が三島村に行くときは約200万円、「フェリーみしま」が十島村に来るときが約350万円になる。燃料単価によって前後する。感染者が出た場合の用船の話し合いは進んでおり、現在、協議内容を国、県に提出しており、承認待ちの状態である。承認が下り次第、正式に三島村と協定を交わしていくよう進めていく予定である。

## 問 名瀬港の販売所について

**答** 名瀬港の販売所はR3年度の中頃完成予定だが、供用開始時期については、未定と聞いている。夜の販売を考えているが、まだ本格的な協議までは至っていない。

## 介護保険特別会計

### 問 総合相談事業について

**答** 高齢者見守り支援員が訪問をし、高齢者の困りごとや相談にのっている。ニーズとして、体調面や送迎の件、病院の受診など、日々の細かい個人的な困りごとが多い状況である。その日に解決できるものは、診療所と連携をして解決しており、役場にも報告があがっているため、行政が入るべきことは介入し、協議したうえで解決している。



## 簡易水道特別会計

### 問 淡水化施設保守点検について

**答** 諏訪之瀬島の淡水化施設については、ポンプや配電盤などに不具合が出ておりR2年度に修理している。保守点検の業者からも、機材によっては20年以上経ったものもあり交換の提案を受けており検討しているところである。

## 後期高齢者医療特別会計

### 問 一体化事業について

**答** R2年度に取組んだものは、後期高齢者医療の被保険者を抽出し、個別支援として診療所看護師が訪問等を行い、事業を展開した。また介護予防体操の「十島の歌ストレッチ体操」を広く多くの方に普及してフレイル予防の一環として取り組みやすいような動画制作などをしている。R3年度では、低栄養、生活習慣病の重症化予防等の抽出基準の見直しを行いながら、オーラルフレイ

ルの対策を歯科衛生士や栄養士の有資格者に取組んでもらい、強化していきたい。

## へき地診療所運営事業

### 特別会計

### 問 遠隔診療システムについて

**答** 現在導入している遠隔システムをR3年度で在宅医療関係も併せて整備（更新）する考えである。看護師2名体制になったことで、訪問介護が可能になり、患者宅からタブレットを通じて、医師へ症状や心電図の情報を送り、医師が診療所に行なくても対面診療をすることが可能になる。



十島村議会 令和3年3月定例議会 議決結果 91案件を審議 全て全会一致で原案の通り可決しました

開催期間	3月8日～3月17日(10日間)		
審議した案件	村長提出議案	90件	議会発議 1件
可決・採決状況	原案可決	91件	
可決した主な議案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 条例制定、改正について(13件)</li> <li>・ 令和2年度補正予算について(7件)</li> <li>・ 契約の締結について(6件)</li> <li>・ 令和3年度当初予算について(7件)</li> <li>・ 権利の放棄について(5件)</li> <li>・ 指定管理者の指定について(51件)</li> <li>・ 整備計画の変更について(1件)</li> </ul>		

令和2年度補正予算

○一般会計	補正第9号	+394,205→6,314,288千円
○国保特会	補正第3号	△110,150→127,686千円
○船舶特会	補正第3号	△44,947→953,304千円
○介護特会	補正第3号	△2,877→84,521千円
○簡水特会	補正第4号	△1,941→124,490千円
○後期特会	補正第3号	△7,365→17,501千円
○診療特会	補正第4号	△40,428→229,797千円

令和3年度当初予算

○一般会計	3,762,220千円(前年度比:△941,658千円)
○国保特会	262,054千円(前年度比: +26,658千円)
○船舶特会	1,208,637千円(前年度比: +126,621千円)
○介護特会	80,978千円(前年度比: △6,886千円)
○簡水特会	297,711千円(前年度比: +225,184千円)
○後期特会	25,087千円(前年度比: +1,842千円)
○診療特会	220,637千円(前年度比: +26,457千円)

議決結果

条例の制定・改正

○十島村森林環境譲与税基金条例制定

「森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律」が成立し、「森林環境税」と「森林環境譲与税」が創設されており、これに伴い、十島村森林環境譲与税基金条例を制定しようとするもの。

○十島村介護保険条例の一部を改正する条例の制定

○十島村すこやか子ども医療費の助成に関する条例の制定

鹿児島県の条例改正に伴い、令和3年4月より乳幼児医療給付事業の対象が、住民税非課税世帯の高校生まで拡充され、窓口無料化となることから、本村の乳幼児医療費助成事業と子ども医療費助成事業を一元化し、子どもの健康の保持及び健全な育成並びに子育て支援を円滑に行うため、新たな制度を制定するもの。

○十島村ごみ処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定

特定離島ふるさとおこし推進事業により、中之島に生ごみ処理施設の整備及び焼却炉施設が換装されることに伴い、発生した一般廃棄物を適正かつ衛生的に処理するため、地方自治法第244条の2第1項の規定に基づき、ごみ処理施設の設置及び管理に関する必要な事項を定めるため、同施設を十島村ごみ処理施設に加えるもの。



契 約

○ミニショベル物品売買契約の締結

契約内容：ミニショベル 2 台

契約金額：12,650,000 円（うち取引に係る消費税額 1,150,000 円）

契約相手：株式会社 ニットク 代表取締役 江夏 洋

指定管理者の指定

・売店及び給油所：1 件 ・農産物関係：7 件 ・畜産関係：29 件 ・水産関係：15 件

権利の放棄

○権利の放棄について議決を求める件（村営住宅家賃）

村営住宅の家賃については、滞納者に対する納付督促・催告を行い収入未済の縮減に努めているが村外に転出、所在不明等によりこれ以上徴収の見込みがなく、消滅時効期間も経過していることから権利を放棄しようとするもの。

○権利の放棄について議決を求める件（十島村黒毛和種優良肉用繁殖雌牛預託事業）

・諏訪之瀬島：1 件 ・平島：1 件 ・悪石島：1 件 ・小宝島：1 件

発 議

○十島村議会会議規則の一部を改正する規則について

村議員活動と家庭生活との両立支援策をはじめ、男女の議員が活動しやすい環境整備の一環として、出産、育児、介護など議員として活動するに当たっての諸要因に配慮するため、育児、介護への欠席事由を整備するとともに、出産については母性保護の観点から出産に係る産前・産後の欠席期間を規定するもの。また請願者の利便性を図るため、議会への請願手続きについて、請願者に一律に求めている押印の義務付けを見直し、署名又は記名押印に改めるもの。



▲ のびっこ園防災訓練の様子（悪石島）

3月議会ライブ中継視聴者数

島 名	3/8	3/9	3/10	3/15	3/16	3/17	計
口之島	0	1	0	0	0	1	2
中之島	5	0	4	2	3	4	18
諏訪之瀬島	0	1	0	1	1	1	4
平 島	0	0	1	1	1	1	4
悪石島	0	4	2	0	1	1	8
小宝島	0	1	0	0	0	0	1
宝 島	2	1	1	1	1	1	7
計	7	8	8	5	7	9	44

編集後記

今回の議会だよりは、2名の議員の一般質問と予算審査結果を中心に編集しています。3月の議会ライブ中継視聴者数は右のとおりです。ぜひ多数の視聴をお待ちしています。

議 長 前田功一

議会広報調査特別委員会

委員長 田中秀治

副委員長 永田和彦

委員 土岐純郎

委員 岩下正行

委員 日高久志

委員 日高助廣

委員 坂元 勇